

鴨居中だより

横須賀市立鴨居中学校校長 山田伊久男

保護者の方と一緒に読みましょう

平成30年（2018年）7月6日 NO. 4

7月に入り、各学年とも、夏休みや三者面談に向けて、この3ヶ月のまとめを行っています。校内には、七夕の飾り付けがあり、短冊に「自分がなりたい姿」「望んでいること」が書いてあって、微笑ましいです。部活動では夏の大会に向けて準備をしています。いよいよ夏本番です。

校外学習

校外学習は、学校にとって大きな存在です。生徒が校外に出るので不安もありますが、逆に言うと、学校で身に付けたことを、日常生活や校外で実際に発揮できてこそ、意味があるわけです。おかげさまで、本校の生徒たちは色々なところで、お褒めの言葉をいただいて戻って参りました。生徒も職員も緊張しますが、大きな山を乗り越えた心地よい達成感で、次へのエネルギーが湧いてきたようです。（PTA 広報誌に各学年の行事の様子が特集されていますのでそちらもご覧ください。）



いじめ防止対策委員会・学校評議員会

この3月に横須賀市いじめ等の対策に関する基本方針が改定されました。それにともしない、本校でも基本方針を見直しました。（HPで公開しています。）6月22日には、いじめ防止対策委員会を開きました。教員以外のメンバー（学校評議員さん、保護司さん、PTA役員さん）もいらっしやるので、改定内容や実際に校内で起こったいじめについてご報告しました。

学校は、多感な生徒たちが集団生活を送る場所です。人間関係のトラブルやいじめは起こりうるものだと考えるところから、いじめへの取り組みを行っています。私たちは、生徒たちに「いじめは、人権を侵害するもので、許されないもの」「いじめがあったらどう対処すべきか」「いじめが起こさせない集団になるために」などを教えたり、考えさせたりしています。また、アンケートや面談などを行って、生徒たちから情報が入りやすいように取り組んでいます。保護者や地域のみなさまには、校外で生徒たちの心配な様子を見かけることがございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。保護者のみなさまには「いじめのサイン発見シート」を三者面談の際にお配りしますので、お子さまと過ごす際の参考になさってください。



また、この会の前に学校評議員会を行いました。今年度のメンバーは、写真右から阿部和利さん、安藤元二郎さん、鈴木三郎さん、高橋務さん（ご欠席）に、新しく川口信子さんを加えた5名です。学校の指導方針や各学年の状況などのお話をしました。PTAや親ガモの会とは違った立場で学校を支えていただいています。今回いただいたご意見を、今後の教育活動に生かしていきたいと考えています。



水泳の授業～水の事故

保健体育科では水泳の授業が始まりました。お子さまの健康管理や諸準備へのご協力に感謝いたします。先日授業の様子を見に行きましたが、1年生と3年生が、自分の課題に向かって整然と練習をしていました。最近、「泳ぐのは海よりもプール」という話を聞いたことがあります。ただ、この地域の特徴として海水浴場が近くにあるので、海で遊ぶことは他地区よりは多いと思われます。水泳の授業では、より効果的で美しい泳ぎ方などを身に付けます。その一方で、生徒たちには水の怖さも知っていてほしいと思います。ここ数年、横須賀の中学生が海で命を落としています。生徒たちにとって、海は身近で楽しいものなのでしょう。でも、だからこそ、その怖さも自覚しなければいけません。荒れた海はもちろん、穏やかな海でも事故は起こります。「安全」と「楽しさ」では「安全」が優先されます。その場の乗りや根拠のない自信などで、間違っただ判断をしないようにしてください。最悪の場合どうなるかを想像しましょう。大人の方々には、正しい判断で見守っていただき、必要に応じた声かけをお願いいたします。悲しい事故を起こさせないために。



初のテスト～全校講話

テスト前の全校講話だったので、「あなたはテストでどんなことにモチベーションが上がるか」と尋ねてみました。①良い点を取る ②ごほうびをもらう ③友達に勝つ ④分からないところが分かるようになる ⑤その他としたところ、①が約70%、②約4%、③約6%、④約19%。（その他1%は「褒められる、（家族などに）喜んでもらう」が複数いました。）しかし、現実の自分のことは置いておいて、望ましいのはどれかと尋ねたところ、ほとんどが④を選びました。（実は今回の話は「モチベーションが上がる」のが、テスト前のことなのかテスト後のことなのか、曖昧な設定でしたので、細かく考えて悩んでしまった人もいました。「モチベーションが上がる＝うれしい」という意味でとらえてみてはどうでしょう。）

モチベーションの上げ方は人それぞれですので、自分の性格を知って、意識して行動するのが理想的です。一方「何が望ましいことかを分かっているけど、それを行動できるかどうかは難しい。」という意見がありました。今後は、そういうことも含めて理解して、自分なりに工夫してほしいところです。例えば、①タイプははっきりと目標点を決めるとか、②タイプは（高額なものは現実的に長続きしないので）好きなおかずを作ってもらおうとか、〇日間は自分の好きなことをしてよいとか、③タイプはお互いに励まし合えるライバルをつくるとかです。「将来お金持ちになるために勉強している」という人もいました。他に「行きたい高校に行くために」「将来〇〇になるために」など、遠くの目標を掲げて、勉強（テスト）に向かうモチベーションを上げる方法もあります。

実際にテストを終えてみてどうだったのでしょうか？次は夏休み明けです。うまくモチベーションを上げてください。その方法を家の人にも話して、理解していただくようにすることも重要です。

最後に、生徒たちが今回考えたことをいくつか紹介します。（表現を少し変えているものもあります）

* テストでのモチベーションなんて考えたことがなかったので良い機会になった。* みんなの「うれしいこと」を色々聞けて良かった。* ちょっとした心理テストみたいで聞きやすかった。* ④もううれしいけど、正直言うと、良い点を取れたときの方がうれしい。* 分かるって、とても快感。* 考えてみたら②が後ろの方に来て、自分でも意外だった。* ①～③はその時点で終わってしまうけど、④だけは次につながる行動や努力ができるのではないかと考えた。* いつもテスト勉強にやる気が出なかったのが、工夫したいと思った。* 好きな教科は④の気持ちになれるから、好きでない教科も④になれるといい。* 昔は分かるようになることがうれしかったのに、最近はあまり意識していなかったなと思った。* 「（人間は）一生、勉強」という言葉が心に残った。* 知らないことを、調べたり学ぼうとしたりすることは学校以外でもできる。それも勉強。* テストだから頑張るのではなく、自分を高めることを意識することが大事。* どんなことにもモチベーションを上げる工夫が大事。* どんな方法でもうまくアップできれば良い。* ④の感覚を身に付けられたら、この先、いろんなことでも頑張ろうとして、充実した人生になりそうだなと思った。